

町内3校で福祉体験学習を実施しました

国見中学校、内之浦中学校、波野中学校では、肝付町社会福祉協議会の方々を講師としてお招きし、人権教育の一環として「福祉体験学習」を実施しました。

講師の方々から「高齢者や視覚障害者の方々が置かれている現状」について講話をいただき、その後「車椅子体験」「高齢者疑似体験」「視覚障害者疑似体験」を行いました。

高齢者の体の動きを体験する活動では、メガネとおもりをつけ、横になったり、新聞を読んだりしました。車いすの体験ではペアを組んで車いすの補助をしました。

この体験学習を通して、少しの段差や階段、砂利道等が、高齢者や視覚障害者の方々、車椅子の方々にとって大きな障壁になることを学びました。

生徒から、「体験を通して、高齢者の方の大変さと車いす補助のときの声かけの大切さを知ることができました。」「認知症についての理解を深めることができました。」などの感想がありました。

